

6月号 CONTENTS

- ・ 鴨池のいきもの 6月
- ・ 決定しました～!
- ・ 「江沼野鳥記」ご覧になりましたか?
- ・ オナジトコ チガウトコ
- ・ TORI TOPICS May.

こっちの木のお味はいかが?



かもいけつうしん
鴨池通信
No.274/2016.6

ひと雨ごとに草は伸び、緑は色濃くなってゆき…鴨池にもほのかに夏の匂いがしてきてます。

オナジトコ チガウトコ

今回は植物の葉には単葉と複葉があり、たくさんに見える葉が実は一枚が分かれたものだということがありというお話と、その見分け方のお話でした。今回はその違いが植物の成長にどう影響を与えるのかというお話をしたいと思います。

一見オナジモノにも見える一本の枝についた複数の葉と一枚の葉が分かれて出来た複葉。これがこの先どう変わっていくかを見ればその役割の違いを理解できると思います。

葉は枝と違い、ある一定の期間で自ら落ちてしまう、いわば使い捨てのような部位です。この落葉のときに切り離す部位は、「一枚の葉」の付け根なので、落葉した後の単葉と複葉の植物では見た目がだいぶ変わってきます。単葉では枝がたくさん残った密な状態なのに対し、複葉では中心の幹だけ残っていくことになります。



ソメイヨシノなどは、細かく分かれて広がった枝が冬も見られます。

枝になりえた部分を落としてしまう複葉はもったいないようにも思えますが、枝という長く残る丈夫な部位を作るにはコストがかかる上、密な状態の枝から葉を出しても下の葉にはなかなか日光が当たりません。また、風を受けやすく折れてしまうリスクにもなります。

それよりも上に高く伸びる幹に成長を集中し、コストが少ない葉を枝のように横に広げ、不要になったら切り捨てるという形にすることで、効率良く成長できるようになったのです。そのような理由から複葉の植物はパイオニアと呼ばれる、開けた土地に真っ先に出てくる植物に多くなったと言われています。

鴨池のいきもの 6月

あっ!見つかったもうた... 食べんといてね? 食べんって約束してや?? あんた何者やってか? うちのスキバジンガサハムシや。翅が透けると陣笠みたいなハムシやさけ、

透羽陣笠金花虫

それにしてもあんたらようちのこと見つけたんねえ! 葉っぱの裏やし絶対見つからんて思っとったんに... あ〜そうか、葉っぱ食べてもうたしや。穴開いとるの見つかったんやな! やってもうたわ〜... そうねん、うちらヒルガオの葉っぱ食べるんや。葉っぱの裏側から食べとるんやけど、食べた跡円い穴空くんや。それバシたんやなあ。しもた〜... このヒルガオ美味いしよおけあるし、見つかりにくいしで油断しとったわ。

こっそり派手なおちびちゃん スキバジンガサハムシ

うちらはカブトムシとかコガネムシとかカミキリムシとかと同じ甲虫のなかまや。透き通って円いかたちしとるけど、これ前翅で言うて翅なんや。この下に薄い後翅があって、うちら飛ぶんやぞ。あんまり怖がらすと飛んで逃げるさけ、たいがいにしては硬い翅しとって、あんたらくらいでかいもんって恐ろしてならんわ。ちっさくて円くてピカピカしとって珍しもんやろけどか、そ〜と見てもらえるとありがたいんね。スキバつかんジンガサハムシもここらへんにおるし、

頭の先からおしりまで約6.5mmと実質半分は透明なんです!

食べたあと

ヒマあったらそ〜とさがしてみんね〜

決定しました〜!

5月からスタートしている「カメラで虫撮り2016」先月は合計32名の方にご参加いただき、おとなの部2点・こどもの部16点のエントリーがありました。ゴールデンウィークの3日と4日は強風の中で虫撮りしてくださった方もいて、ありがたいやら申し訳ないやら... 力作ぞろいで毎月悩んでしまいますが、この中から選ばれた5月のレンジャー賞受賞作品を発表します!!

こどもの部

加賀市の灰田禅さんの撮ったニホンカナヘビ。少し暑いぐらいの陽射しに誘われて、枯れ草の中からひょこっと現れたところをキャッチ! 手のひらにすっぽりおさまってしまうぐらいの小さなトカゲのなかまです。



おとなの部



鯖江市からご来館されたお客さまの撮ったナナホシテントウです。緑の草むらの中にくっきり映える赤と黒。ピントもばっちり、小さな小さなテントウムシが力強く感じられる作品です!

灰田さん、南部さん、おめでとうございます! エントリーしてくださったみなさん、ありがとうございます!! 何回でもご参加&エントリー大歓迎なので、また鴨池たんぼのいきものたちに会いに来てくださいね! これからひと雨ごとに種類も数も増えていきます。今年は早くもショウジョウトンボが登場、タマムシにもそろそろ会えるかな...? 雨が多い時期こそ目が離せません。毎年エントリー数少なめな6・7月はレンジャー賞も狙い目です。ご参加お待ちしております~!

「江沼野鳥記」ご覧になりましたか?

その昔、加賀市と小松市の南部を含む地域は、3つの河川と3つの大きな湖を有する地形から江沼と呼ばれていました。豊かな水に恵まれ、多くの野鳥たちが暮らしてきたこの地の風景を撮り続けてきた、鴨池観察館友の会の田島一仁さんの写真を6月4日から7月3日まで観察館で展示していました。大都市から比べればまだまだのどかなところですが、もう見ることはできなくなった風景をとらえた作品もあり、変わりゆく江沼の姿を改めて実感する写真展でした。ご来場いただいたみなさん、ありがとうございました。

田島一仁写真展

江沼野鳥記

6月4日~7月3日

期間中、265名の方にご来場いただきました。

後援: 加賀市・鴨池観察館友の会
北國新聞社・北陸中日新聞
読売新聞北陸支社
石川テレビ・テレビ金沢



6月7月合併号です

両面で
お楽しみ
ください~



TORI TOPICS May.

*5月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなど、拡大版でご紹介します!

- ホトギス初認 (16日)
- ツツドリ初認 (7日)
- サンコウチョウ初認 (21日)
- カッコウ初認 (22日)
- ムラサキサギ飛来! (27日)
- オウチュウ飛来!! (27日)
- アカガシラサギ飛来! (29日)

3日間のうちに珍しい鳥が3種も来たよ!!

中国大陸や台湾などではおなじみの鳥たちですが、日本の鴨池では超激レアのみなさんです。とくにオウチュウは鴨池初記録。この日1日だけの滞在でしたが、鴨池たんぼ横のクルマの木周辺を飛び回り、トンボやガなどの昆虫を捕食していました。3日の間に立て続けに飛来した珍客たちに、レンジャーたちもテンションが上がっていました!

鴨池初記録!

オウチュウ



7年ぶり! ムラサキサギ



ムラサキサギもアカガシラサギも10日間くらい鴨池にいたよ! また南へ渡る前に立ち寄ってくれるかもしれないね!!

昨年に続いて今年も!

アカガシラサギ

Twitter Facebookで最新ニュースお届け中! Facebookはアカウントなしでも見られます!!



鴨池観察館通信紙 No.274 鴨池通信2016年6月号

発行: 加賀市鴨池観察館
制作編集: 加賀市総合サービス株式会社 田米希久代 櫻井佳明 中野夕紀子
〒922-0564 石川県加賀市片野町子2-1
TEL: 0761-72-2200 FAX: 0761-72-2935
E-mail: kamoike@kagashi-ss.co.jp URL: www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/